上田市議会議員　斉藤達也の活動報告

達参会ニュース
たっさんかい

２０１９年（令和元年）第８号

発行人　達参会（斉藤達也後援会）　長野県上田市中央2-20-12　討議資料
TEL&FAX　0268-75-0175　E-mail：t.saito.koenkai@gmail.com

◆ひきこもり支援について考えナイト！

8月29日に認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人※1　理事長の長岡秀貴先生をお迎えして、トークライブを行いました（主催：ウエダマテマチカ、会場：犀の角）。

※1　社会で生きづらさを抱えた若者や社会の中でサポートが必要な子どもたちが自分らしく充実した人生が送れるように、学校形式での包括的な自立支援を展開する民間の教育施設。

1. ひきこもり等※2に関する調査結果

※2　概ね15歳から65歳未満の者で、社会的参加（仕事・学校・家庭以外の人との交流等）ができない状態が6か月以上継続していて、自宅にひきこもりまたは時々買物等で外出することがある方。

上田市の民生児童委員が把握をしている情報の内、アンケートの回答があった部分のみの集計結果（抜粋）です。

【該当人数】182人（内、男性73.6%）
【年代別傾向】40代30.8%、30代19.2%と就職氷河期世代が多い
【ひきこもり期間】10年未満53.8%
【至った経緯】「不明」が最多の25.3%
【生活困窮】26.4%の方が生活困窮の状態

2. 長岡先生のトークライブより（抜粋）

・一般的な自立のプロセスは、自己選択、自己決定の習慣化（自我と向き合う）。
・「健康な心身の獲得」が無いと、ひきこもりから脱することが難しい。
・ひきこもりは特別なことではない。誰もがちょっとしたキッカケで可能性がある。
・不登校の延長上でひきこもりに至るケースも多い（上田の調査結果は14.5%）
・学校や家庭以外の第3者的な社会資源とつながることが有効。
・伴走型支援に必要なのは「覚悟」。「覚悟」がないと命と向き合うことはできない。

★詳細は「ウエダマテマチカ YouTube」で検索して頂ければ、動画をご覧になれます。

3. 所感

上田市では、まだ本格的なひきこもりの実態調査が行われておりません。実態を把握するのは非常に難しいですが、先進地では既に取り組んでおり、その後の就労支援等でも実績をあげています。　行政単独でできることは限界がありますので、この分野でも地域の各種団体・法人等との公民連携を積極的に提案していきます。

９月定例会　一般質問

◆ 将来の財政状況の見える化

問　現在の上田市は、年々厳しくなる財政状況など将来に向けての危機感がなく、市民と危機感の共有ができていないと考えるが、市長の見解はどうか。

（土屋市長）将来的に人口減少や大都市圏への集中、少子高齢化がより進むといった状況のもと、上田市においても今後市税の減少は避けられず、また社会保障関係経費の増大なども大きな負担となるなど、今後の取り巻く環境は依然として予断を許す状況にはなく、これまで以上に、危機感を持って行財政改革に努めていくことが必要である。今後も財政の見える化等も含め、あらゆる機会を通じ市の財政状況をわかりやすく公表することで、市民の皆様と問題意識を共有しながら、社会情勢の変化にスピード感を持って対応し、将来を見据えた健全な財政運営に努めていく。

◆ＰＰＰ・ＰＦＩ（公民連携）の導入

問　今後40年間に最低３割以上の公共施設を縮減しなければ将来世代への負担が増えるが、対応状況はどうか。

答（中村総務部長）将来にわたって持続可能な行財政運営を行っていくためには、公共施設の適切な維持管理はもとより、総量の縮減を図り、統廃合による施設の集約化、複合化のほか、耐震化、長寿命化、民間活力の導入などを全市的な資産管理と利活用という視点で検討する必要がある。現在実施している事業としては、分散している庁舎の集約化等を図る上田市庁舎改修・改築事業や、武石地域自治センターと周辺の公民館等の複合化を図る武石地域総合センター整備事業がある。進捗状況としては、各施設類型ごとに個別施設計画の策定を進めているところである。

問　ＰＰＰ・ＰＦＩの導入状況はどうか。

答（中村総務部長）給食センター建設事業やスポーツ施設、体育館の移転新築といった大規模な事業の検討を行う中で課題の整理や研究に取り組んでいるが、市として現在までのところＰＦＩを導入したことはない。

◆公共施設マネジメント基本方針の推進

問　危機感を持って進めるためには市長直轄組織で推進すべきと考えるがどうか。

答（土屋市長）公共施設マネジメント基本方針において、全体調整や進捗管理を担う公共施設マネジメント所管部署の体制の段階的な強化あるいは充実がうたわれており、直轄かどうかにかかわらず、私もリーダーシップをとって進めていきたい。

みんなで災害について考えナイト！のご案内

台風19号により被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。自然災害に強いと言われてきた上田市ですが、今回は千曲川の増水に伴う越水や堤防の欠損、それに伴う鉄橋等の崩落、住居への浸水被害、土砂崩れ、道路陥没等、大きな被害が発生してしまいました。そして今後も、世界的な気候変動の影響による台風の大型化等により、同様の脅威が迫ってくる可能性があります。

そこで、今回の災害を経験して私たちが学んだことや、自然災害による被害を最小限に抑えるためにできること等について、市民の皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひ皆さんのご意見、アイデアをお聞かせください。

日　時：11月27日水曜日　19時～20時30分
場　所：犀の角（海野町商店街）
参加費：１ドリンクオーダー
主　催：ウエダマテマチカ
※申込・問合せ090-2267-0238（斉藤）